

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11292

緊急発掘調査事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	緊急発掘調査事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)を適正に保護する。		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査を実施、保護資料を作成する。発掘調査事業を企画し、専門団体に委託し、調査を行う。国指定文化財の大谷古墳、四箇郷一里塚を管理する。埋蔵文化財発掘資料を管理する。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		遺跡範囲かどうかの確認対応件数 3, 394件 発掘 19件 整理作業 6件	遺跡範囲かどうかの確認対応件数 3, 577人 発掘 14件 整理作業 7件	遺跡範囲かどうかの確認対応件数 3, 645人 発掘 16件 整理作業 9件	遺跡範囲かどうかの確認対応件数 人 発掘 件 整理作業 件	遺跡範囲かどうかの確認対応件数 人 発掘 件 整理作業 件

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	125,330	122,927	486,757	471,111	343,581	337,554	133,490	0	132,313	0	
伸び率(%)	△43.2%	△42.8%	288.4%	283.2%	△29.4%	△28.3%	△61.1%	△100%	△0.9%	0%	
人件費	正規職員	14,386	15,499	18,425	20,020	12,548	24,696	18,782	0	18,782	0
	正規職員以外	0	0	0	2,173	1,167	740	1,495	0	1,495	0
	小計	14,386	15,499	18,425	22,193	13,715	25,436	20,277	0	20,277	0
国庫支出金	9,418	8,232	8,883	7,843	9,068	8,486	8,913	0	8,913	0	
県支出金	470	411	444	392	480	424	445	0	445	0	
市債	0	0	0	0	1,000	1,000	1,000	0	0	0	
その他	0	0	350,002	350,000	200,000	200,000	3	0	3	0	
一般財源(税等)	115,442	114,284	127,428	112,876	133,033	127,644	123,129	0	122,952	0	
所要人数(人)	正規職員	1.81	1.95	2.31	2.51	1.57	3.09	2.35	0.00	2.35	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.87	0.47	0.47	0.95	0.00	0.95	0.00
主な予算内訳	文化財発掘調査委託料 406,436千円 文化財保護事業委託料 60,720千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
文化財保護法に基づく届出・通知		件	目標値					
			実績値	200	209	300		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
立会調査		件	目標値					
			実績値	50	40	70		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
確認調査		件	目標値					
			実績値	36	39	53		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
発掘調査件数		件	目標値					
			実績値	19	14	16		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化財保護法に基づいた事業である。
見直し・改善内容	日常的な文化財パトロールにより、文化財保護法に基づく届出等の漏れがないようにつとめる。